明石工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	美術

科目基礎情報

科目番号	0013	科目区分	一般 / 選択
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	編集部：「美術１」、光村図書出版　その他課題に応じて資料となるプリントを配布する		
担当教員	大野 良平		

到達目標

1. いくつかの方法で美術表現ができる。
2. 作品の鑑賞や合評での批評ができる。
3. 実生活と美術の関わり方を理解する。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	いくつかの方法で自在に美術表現ができる。	いくつかの方法で美術表現ができる。	いくつかの方法で美術表現ができない。
評価項目2	作品の鑑賞や合評での批評が的確にできる。	作品の鑑賞や合評での批評ができる。	作品の鑑賞や合評での批評ができない。
評価項目3	実生活と美術の関わり方を十分に理解している。	実生活と美術の関わり方を理解している。	実生活と美術の関わり方を理解していない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A)

教育方法等

概要	平面描写(デッサン)、立体造形(粘土)、色彩(色材)、発想(イメージ)など、美術表現をとおして個々の感性を磨き、実生活と美術(アート)の関わり方を学ぶ。
授業の進め方・方法	授業は主として美術表現の実技形式で進める。
注意点	個々の主体性を要する科目である。意欲的に制作に取り組むこと。授業ではF6サイズスケッチブックを使用。用具等の忘れ物がないように。教室の後片付けと掃除を義務付ける。 合格の対象としない欠席条件(割合)　1/4以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業内容および用具/鑑賞/次回の課題説明１	
		2週	デッサン1・(描写)	デッサン(描写)ができる。
		3週	デッサン2・(デフォルメ)	デッサン(デフォルメ)ができる。
		4週	粘土制作１	粘土制作ができる。
		5週	粘土制作２	粘土制作ができる。
		6週	粘土制作３	粘土制作ができる。
		7週	粘土作品ニス塗り/合評/次回の課題説明２	粘土制作とその合評ができる。
		8週	色材料をつかった抽象表現(自然界のイメージ・１)	色材料をつかった抽象表現ができる。
	2ndQ	9週	色材料をつかった抽象表現(自然界のイメージ・２)	色材料をつかった抽象表現ができる。
		10週	色材料をつかった抽象表現(自然界のイメージ・３)	色材料をつかった抽象表現ができる。
		11週	色材料をつかった抽象表現(自然界のイメージ・４)	色材料をつかった抽象表現ができる。
		12週	合評/次回の課題説明３	抽象表現の合評ができる。
		13週	人物(骨格模写・１)	人物の骨格模写ができる。
		14週	人物(クロッキー・１)	人物のクロッキーができる。
		15週	人物(クロッキー・２)	人物のクロッキーができる。
		16週	期末試験実施せず	
後期	3rdQ	1週	合評/次回の課題説明４	模写・クロッキーの合評ができる。
		2週	フィールドワーク１(屋外スケッチ・心に残った風景、もの)	屋外スケッチができる。
		3週	フィールドワーク２(屋外スケッチ・心に残った風景、もの)	屋外スケッチができる。
		4週	フィールドワーク３(屋外スケッチ・心に残った風景、もの)	屋外スケッチができる。
		5週	合評/次回の課題説明５	屋外スケッチの合評ができる。
		6週	デザイン(キャラクターを考える・１)	キャラクターのデザインができる。
		7週	デザイン(キャラクターを考える・２)	キャラクターのデザインができる。
		8週	デザイン(キャラクターを考える・３)	キャラクターのデザインができる。
	4thQ	9週	環境アート１(街へ飛び出すアート/美術と社会の関わりについて)	環境アートを鑑賞できる。
		10週	環境アート２(街へ飛び出すアート/美術と社会の関わりについて)	環境アートを鑑賞できる。
		11週	環境アート３(街へ飛び出すアート/美術と社会の関わりについて)	環境アートを鑑賞できる。
		12週	発想表現１(イメージトレーニング)	発想表現ができる。
		13週	発想表現２(イメージトレーニング)	発想表現ができる。
		14週	発想表現３(イメージトレーニング)	発想表現ができる。

		15週	美術総評	総評の内容を理解できる。
		16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者の意見を聞き合意形成することができる。	1	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	1	
				目標の実現に向けて計画ができる。	1	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	1	

評価割合

	実技制作	出席状況・制作態度	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0